



# 集落営農組織の設立

## さくら おおしの緑地会（千葉県佐倉市）

○当組織は、千葉県北部下総台地の中央部に位置し、鹿島川沿いに広がる水田地帯を主な活動地域としている。

施設の維持管理や共同活動の推進を図るため平成26年度に活動組織を設立し、本活動を通じて、次代につなげる地域の共同意識や環境づくりの意識（ふるさと愛）を育てている。また、地域農業のあり方についても話し合いを進め、本活動を契機として、地域農業の担い手たる集落営農組織の立ち上げに至った。

### 【地区の概要】

- ・取組面積：39.9ha  
（田39.9ha）
- ・資源量：開水路 13.8km  
農道 4.1km
- ・構成員：自治会及び婦人会の一部
- ・交付金：約3.4百万円  
農地維持支払  
資源向上支払(共同活動、長寿命化)

### 取組内容

- 多くの住民が農地を守りたいという意向があるものの、施設の老朽化が著しいことと担い手もない状況であり、将来の耕作放棄地の増大が懸念されていた。
- 地域内の耕作者、地権者を対象に農業に対する意向調査を行い、現状の課題や意向を確認した。
- 地域農業の将来を考えるため、農業者による定期的な勉強会（オヤジの会）を発足し、各種営農組織の視察学習や農業者同士の農業経営の情報共有を図り、「大篠塚地区」らしい営農組織形態の検討を図った。

地区内農家に将来の営農についての意向調査を実施

保有機械調査を実施し各戸の営農状況を把握

経営コストなどを試算

賛同者の手持ち機械を活用し共同で耕作を実施

地域にあったスタイルの集落営農組織を立ち上げ

### 取組の効果

- 勉強会（オヤジの会）を結成し会を重ねた結果、集落営農組織の立ち上げに至った（当初面積60a→1.3ha（R4 予定））



オヤジの会のシンボルマーク



勉強会